

『水道のかたち』（1月5日配信）

こんにちは、戸田です。

今回は、水道のかたちについてお話しします。

私はろう学校の幼稚部で働いています。幼稚部の子どもたちは毎日遊んでいるのですが、おままごとが好きでよくやっています。

食材を切る、調理する、盛り付けてみんなで食べるといったおままごとです。マジックテープでくっついており包丁などで半分に切れる野菜など、おままごと用のおもちゃを使って遊びます。また、子どもが自分で考えて作るものもあります。魚や大根などの食べ物を折り紙や紙を巻いて絵を書くなどして作ることがあります。そのなかで、子どもがキッチン、主に水道とシンクを作るというのです。段ボールを置き、水道などを作るのですが、そこでひらめきます。

キッチンの水道は1つですよ。でも、その子は2つ作ったんです。形はTで、両側から水が出ます。理由を聞くと、向かい合って会話ができるからとのこと。普通であれば、一人で皿を洗いますが、友人と水道を挟んで会話ができるこの形は、私は思いつきませんでした。これはデフスペースの考え方です。水道の多くは壁に埋め込まれていますよね。この新しい形は、ろう学校の水道で子どもたちが手洗いをしながら会話したり、ろう者の家、例えば二世帯の家などの水道など、目を合わせられる新しい形が今後増えてくるかも。